

鳥取こども学園 学園だより



法人としての乳児院

鳥取こども学園乳児部 院長 田中 佳代子

年の暮れをカウントする季節に入りました。過ぎてみれば月日の経つのは早いもので乳児部も開設して三年が経過致しました。この間、金銭・物品の寄付だけでなく、乳児養育支援に対するご理解やご支援・温かい激励を数多くいただきましたことに心より感謝申し上げます。

『これだけ多くの方々の注目やご支援が頂けるのはなぜだろう』と考えますと『純真無垢な乳幼児が少しでも幸せな時や人生が保障されますように』という皆さんのメッセージを感じ、その大切な養育の一貫を担わせて頂いている施設であることさいつも胸に刻んでいます。

鳥取こども学園の創立の精神『愛』を基本にして、鳥取こども学園乳児部も乳幼児の健全な成長を願い、保護者と共に子ども達の成長を見守って養育援助をさせて頂いています。生活に密着した肌で感じる生活感覚やこの世に生を承けてここにあることの喜び、自己肯定感が持てる子ども達に育って欲しいと願っています。保護者またはそれに代わる職員と愛着関係がしっかり結ぶることによって子ども達の心の成長を保障

してあげることが出来ると信じ、職員も自己研鑽を続けながら試行錯誤を繰り返しています。様々な家庭環境の中から来た子ども達ですから一筋縄ではいかないことも多いですし施設としての限界も感じています。よりベターな援助をするにはどうしたらよいかを模索しながら歩んでいます。

全国に百二十ある乳児院の殆どは、建物構造や国の少ない職員配置基準等の理由で、今でも集団養育（グループ十〜二十人）を余儀なくされています。鳥取こども学園乳児部は、法人の『家庭的処遇の保障』という理念のもとに、経営的には苦しいですが、一ホーム五人の子どもと五人の職員で

担当制を取っています。それでも夜勤や検診・通院・入院・職員としての役割分担や会議などの為、一対一の時間の確保が難しい現状



と向き合いながら格闘しています。

また、乳児院は心の保障だけでなく、身体的にも未成熟な乳幼児の『命』や『健康を』どう守るかも課題と考えています。今年、新型インフルエンザの流行で乳児院もハラハラしておりますが、各施設間連携を取りながら対応しています。

三年経過して振り返りますと、乳児院の狭い視野や援助だけではなく、法人として施設間の連携を取りながら総合的な視点で乳幼児の養育に当たれたことはありがたいと感じています。施設をまたがって兄弟で入所している子ども達の支援・保護者の支援・職員の専門性の向上・施設管理等々、百三年という長い歴史の中で培ってきた法人の理念の元に施設間を超えて協働できる体制の中で一緒に歩ませていただきました。そして、法人が大切にしている地域や関係機関との連携の仲間入りもさせて頂きました。ご理解・ご支援を頂けましたことに感謝しております。時や社会が変わっても守るべきものは変わらぬ。国では政権交代も行われ、児童福祉分野の今後も見通しが不透明となっておりますが、児童福祉分野に携わる者として、子ども達の『最善の利益』を追求しながら今後も法人の理念を大切にして、歩み続けていきたいと思っておりますので、皆様の変わりぬご支援とご指導を心よりお願い申し上げます。

法人本部

常務理事 藤野興一 記

法人財政基盤強化と国・県の公的制度改革が急務です。ご協力ください！

①創立百周年を期に私たちは、「改めて学園創立の精神に立ち返り、制度に子どもを合わせるのではなく、あくまでも子どもの最善の利益を求め続けよう。」と、キリスト教社会事業の先駆性と献身性の復活を掲げて歩んできました。

②国の施設整備基準を大幅に上回るホームを次々に建て、児童養護施設四五名定員で七ホーム、情緒障害児短期治療施設三〇名定員で四ホーム、乳児院一五名定員で三ホーム、独立した一時保護・シヨートステイホーム、計一五ホーム体制を作り、各ホーム、養護が三人、情短が三・五人、乳児が五人の職員を配置した日本でもトップレベルの「子どものための施設」を作り上げてきました。

③この体制は施設経営の面では、無茶な体制です。年間一千万円以上の寄付金収入と毎年の積立金取り崩し、職員の三割が臨時職員という職員の低賃金とボランティアに支えられての体制でした。しかし、公的な制度改革が進まない限りこれ以上持たないところまで来ています。この間私たちは、職員会や理事会で、児童養護施設の七ホームを六ホームに減ら

して三人の職員減を図るべきか、七ホーム体制を維持すべきかの議論の末、寄付集めと制度改革の推進を主体的に担うことを前提に来年度七ホーム体制の維持を決定しました。

④施設等への入所児童は、三世代以上遡った世代間連鎖の結果としての貧困や虐待による要保護児童です。施設や里親の使命は、この負の世代間連鎖を断ち切ることにあります。戦後の戦災孤児の収容保護体制である大舎制施設から小舎制施設への移行と職員配置基準見直しによる公的養育体制の確立は急務です。鳥取ごども学園は皆様の「ご支援」に支えられて、制度改革を先取りしてきました。未だ制度改革が進んでいない中で、自前の資金が必要で、誠に恐縮ですが、より一層の物心両面でのご支援をお願いします。

鳥取県安心ごども基金特別対策事業補助金を申請中、更なる施設整備を計画。

- ・児童養護施設 一三、〇四〇、〇〇〇円
 - ・情短施設 一一、四九四、〇〇〇円
 - ・乳児院 一〇、八九、八〇〇〇円
 - ・保育所 二、三六〇、〇〇〇円
 - ・鳥取フレンド 二、二三四、〇〇〇円
 - ・倉吉スマイル 七、九七六、〇〇〇円
- 合計 四八、〇〇三、七三八円

お陰さまで、法人負担なしで懸案の施設整備が出来そうです。感謝です。

児童養護施設

鳥取ごども学園

つくしホーム



元気がいっぱいの子男子ホームです。子ども七人と職員三人で生活をしています。写真は今年の夏、大谷海岸に海水浴に行つた時のものです。

海の中は冷たくて気持ちがよく、波に乗って沖まで行ってしまいたい気持ちになりました。泳ぎは下手だけど、練習して来年はもっと気持ちよく海を泳ぎたいです。



(中学二年 A・I)

こすもすホーム



おもちゃ王国にいったよ

九月十九日にホームの皆とおもちゃ王国に行きました。僕が一番楽しかった乗り物はゴーカートです。初めて運転をしたけれど、とてもおもしろかったのだから乗りたいです。



あざみホーム

竹林公園にホーム行事に行つたよ

ホーム行事で一番楽しかったのはお風呂です。M先生とお風呂に入るのが楽しみでした。M先生は事務所の先生になったのでちょっとさみしいです。M先生もさいこのホーム行事なのでさみしくないのかなと思いました。でも「お風呂で静かにしんさい」と言われ、いつもどおりのM先生だと思い、ホッとしました。あつというまの一泊二日だったなと思いました。

M・N



乳 児 院

鳥取こども学園乳児部

子どもと共に

乳児部主任保育士

竹 中 成 代

乳児部が設立して二年。子育てにはこ
れで良いとするゴールがなく、試行錯誤
の毎日。子どもと共に成長してきた三年
だった。

現員、〇歳〜三歳までの十六名。三ホー
ムに分かれての生活。五つ子ちゃん、六
つ子ちゃんの一家が三家庭あるのと同様
な現状。子ども達が必死で生きようとす
る中で出てくる欲求を出来るだけ受け
止めようと我々職員も必死。

子ども達に明るい未来が待っている事
を信じて、笑顔と笑い声の絶えない乳児
部であり続けるよう真摯に勤めていき
たい。

子どもと関わる中で

石 破 民 子

鳥取こども学園に勤めて丸三年になり
ます。一年目から乳児院で勤務していま
すが、最初の頃は現場に入り、子ども達
に関わっていました。その後現場を離れ

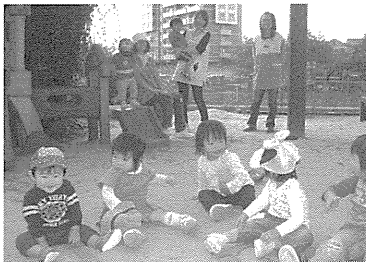
てセラピストとして従事して二年ほど経
ちました。

子ども達がどんな思いでいるのか、ど
うしてその行動しようと思ったのか、考
えを巡らせては試行錯誤する毎日です。

特に、乳幼児は言葉で気持ちを伝える事
が難しく、大人の受け身になりがちなの
で、「きつくてだから」「たぶんくだろ
う」と思い込む事や、「自分は子どもと
関係が結べている」と勘違いする事な
いようにしようと思っています。

また、セラピストは所属に関係なく子
どもを担当するので、色々な年齢の子ど
も達と関わります。そのため他施設の職
員の方々のやりとりも増え、連携する
事の大切さを学びました。まだまだ分か
らない事はばかりで、悩んで立ち止まって
しまう事も少なくないですが、その中で
子ども達からも教わる事が多くありまし
た。一人ひとりに全力で向き合うこと、

内面をしつかり
と見つめること
の大切さを実感
しています。こ
れからも、子ど
もと一緒に成長
していきたいと
思っています。



情 短 施 設

鳥取こども学園希望館

あのときぬは

若かつた〜

今年度、勤続十年児入協会長表彰を受
けられたお二人に、この十年をふりかえっ
ていただきました。

男子ブロック長

(主任児童指導員)

藤 野 謙 一



先日、グランドの
ポプラの木が倒木の
恐れがある(中身が
虫に喰われスカスカ)
という理由で切られ
てしまいました。こ
のポプラは、幼少の
頃からの遊び場でし
た。四季折々で景色が変わり、そよ風の
日は優しく、風の強い日は恐ろしくもあ
り、コウモリ、フクロウ、その他多くの
鳥たちや虫たちの拠り所でした。

そんなポプラを、今度は職員として十
年間、第一児童棟から眺めていました。
振り返ってみると、紙面では書ききれな
いほど内容の濃い十年だったと思います。
苦しい時、常にポプラは「在り」ました。
そんなポプラを眺めながら色々なことに

思いを馳せて子どもたちと過ごした日々。

「自然」という生命の息吹と一人一人の
「人生」とを対比させたとき、人生の悩
みがとても小さく感じます。時代は変わ
ります。中身がしっかりとしたポプラの
ような職員、学園でありたいと思います。
これからも精進してがんばっていきたく
と思います。

保 育 士

山 本 奈 穂 子



「子どもと一緒に頑
張るぞー」そう心に
決めて学園へと飛び
込んでから、十年。
時の経つのは、本当
に早いものだと思
います。

子ども達との出会
いを通して、私は本当に多くのことを学
ばせてもらいました。自分の生い立ちに
は無いような経験をしてきている子ども
達を前に、自分に何が出来るのか、その
対応に頭を悩ませるのが常ですが、子ど
も達は賢明でした。頑張りつつある姿に、
そしてその笑顔に、パワーをもらって
いたのは私自身でした。

多くの方に支えられて、今の自分が在
ることに、感謝の気持ちでいっぱいです。
今の自分にできるベストの関わりを模索
しながら、今後も全力で子ども達と向き
合っていけたらと思っています。

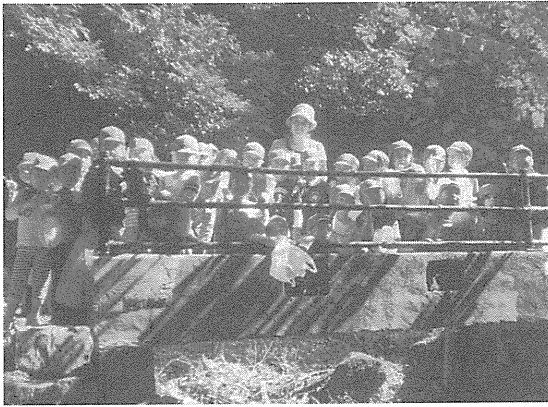
保育所

鳥取みどり園

園長 入江 一 枝

夏の間、緑色に輝いていた木の葉が、種類によっては紅色や黄色に変化しています。変化していない緑色の葉も紅葉している葉を引き立たせているように感じます。美しい自然に目をとめて心を動かして、神さまからいただいた自然の恵みを五感を通し、感じ、感謝の気持ちをもつて過ごしたいと思います。

移りゆく自然と触れ、思いっきり体を動かして、さまざまな活動と交わりの中で子どもたちは、自分らしく、成長していきます。



たように思います。

生活の中でのびのびと遊んでいる子どもたちの姿や、発見や感動に目を輝かせている子どもたちの表情を見ると、何とも言葉ない喜びと安堵感に浸ります。そんな子どもたちを、ゆとりある心で受け入れ共感していく中で、明日の保育へとつながっていくようにしていきたいと思っています。

三歳未満児の保育参観日は、保護者の皆さんに保育者として一日お子さんのクラスで生活して頂き、園での生活を見て頂いたり、援助の仕方や遊びなど関わりながら学んで頂くことと計画しています。参観された方の感想をご紹介します。



一日保育参観をして

たんぼぼ組
福 長 智恵美

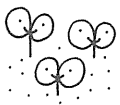
私は、保育参観を通して、予想を超える子どもたちの姿に驚かされました。子どもたちは、規則正しい生活リズムの中

で安心して生活しているようでした。食後の食器は自分で運んだり、食べ残しはバケツの中に入れてたりするなど、年齢に応じたしつけや集団生活のマナーを教わり、身につけていることを知りました。

また、「子どもは集団の中で育つ」ということを実感したように思います。泣いた時に友だちが元気づけてくれたり、昼寝の時に友だちとほほ笑み合ったりする姿に、友だちの有難さを感じました。家では食べられない食材も、友だちと一緒にだからおいしく食べることができました。それもすべて、先生方のご指導のおかげです。担当の子どもだけでなくどの子ども大切に育ててください、本当にありがとうございます。

最後に、集団生活だからこそ学べること、例えば自制心やトラブルを通して気付く思い、豊富な体験活動を通しての喜びなどが参観した一日だけでも様々あり、子どもたちは多くの刺激の中で頑張っていることを知りました。親がそれを一緒に喜んで気持ちを知りたいです。子どもは明日も頑張るのではないかと感じました。保育参観を通して、子どもたちを見直し、自分を振り返ることができました。

ありがとうございました。



鳥取みどり園行事

- 6月7日 鳥取みどり園バザー
- 12日 時の記念日(小谷時計店・高垣時計店見学)
- 20日 参観日(保育参観・座談会)
- 28日 私立保育園保護者会連合行事(ソフトバレーボール大会)
- 7月7日 七夕まつり
- 8日 プール開き
- 21、22日 個別懇談会
- 28日 卒園生のつどい
- 8月1日 納涼祭
- 28日 プール納め
- 9月13日 仕事会(保護者会主催)
- 18日 敬老の日のつどい
- 18日 風紋館デイサービス「敬老の日のつどい」に出演(年長児)
- 10月4日 運動会
- 14日 交通安全教室(保護者会主催)
- 16日 園外保育：徒歩遠足
- 23日 キッズサッカー教室(三歳以上児) 講師 鳥取スポーツクラブの先生
- 11月6日 絵本の読み聞かせ会 講師 ねえよんでの会
- 8日 私立保育園保護者会連合行事(〃空港で遊ぼう)
- 11日 焼いも大会
- 19日 感謝祭
- 25日 県指導監査

*子育て支援センター「育児講座」は、講師を招いて毎月1回行っています。

子ども家庭支援センター

希 望 館

今の社会はどことなく社会全体に不安な雰囲気があったよっていているようです。人間の生活は家族、周囲の人々、地域の人々、働く職場等々の人間関係のなかで営まれていくのですが、このような世界で一人ひとりの生活の苦しさが強くなってきたりするように思っています。

厚生労働省ではこのような生活不安を見通していたわけではないでしょうか。平成九年の児童福祉法改正で「地域に密接した相談機関」として児童福祉施設付設の「児童家庭支援センター」の設置を決めました。当センターでは平成十一年十一月一日から相談事業を始め今日まで十年を経過しました。相談活動の中で特に注目されているのは、法のなかでの児童相談所からの委託を受けて家庭や児童を支援する「指導委託」を受託するシステムです。当センターでは今日まで、七件の受託を受けて児童相談所と連携して支援活動(カウンセリング、心理療法等)を実施してきております。

この活動を今後ますます充実して地域の人々を応援するよう努力しているつもりです。

自立援助ホーム

鳥取フレンズ

児童指導員 鷲見 智明

フレンズ寮は築七十年の老舗に入居していましたが、この度改築工事が終了し、平成二十一年七月二十日から新フレンドでの生活が始まりました。鳥取ごども学園敷地内における仮住まいの生活では、引越しを前提としている「不安定な住居」という事実も大きく影響し、子どもたちは「ここは安定した住居である」「自分の居場所である」と充分に感じられなかったようで、新フレンドでの生活となり「安心感が増した」との声も聴かれました。ここには、職員の配慮が行き届いていなかったことも充分に考えられますが、新フレンドが少しでも「自分の居場所」として受け入れてもらえたと察することができ、とてもうれしく思います。

新フレンドでの生活も三ヶ月が過ぎ、個々人が自分なりの道を、自分のペースで歩みだしておりますが、未来への不安が心の中に影を落とし、足踏みをする場面も多く見受けられます。その不安の中心には、生い立ちに起因する「この世界に自分の居場所は存在しないんだ」といっ

たものが位置しているのではないのでしょうか。何年も自分の核、つまり拠所となる人がいなかった子どもたちがその不安をすくべに解消できるはずありません。自分が「価値ある存在」と思えてこそ初めて未来への一歩が少しずつ踏み出せるのでしょ。フレンズがそのような存在となり、そうあり続けること」それ以上に必要なことは何も無いのかもしれない。その中で個々人が自分の生い立ちを見据え、解き放ち、許していつてほしいと想います。それぞれの生活の指針となるような、いわゆる「普通の生活」がフレンズで送ればと感じております。



自立援助ホーム

倉吉スマイル

寮長 田村 崇

十一月五・六日に、全国自立援助ホーム連絡協議会全国大会が群馬で開催されました。二日目に、東京の「憩いの家」で何十年も寮母を務められた三好洋子さんにお話を伺うというプログラムがあり、いい話をたくさん聞くことができました。その中で、「子どもたちは仲の良い大人の中に居ることが安心できる」という話がありました。三好さんは「スタッフ間でもそんな想いを安心して吐き出すことができたら」、「意見が違つ時こそお互いに言い合えることが大切で、これは信頼と尊敬があるからできるんだ」、「ひとりぼっちだったらやっていけなかったな」と熱心に話してくれました。これまでの私は、どちらかというと一人で抱え込んでしまつた方だったので、何か肩の荷が下りたような気がしました。

スタッフ間の信頼と尊敬、そして、仲の良いスタッフの姿を子どもたちがみて安心感を持ち、これから彼らが生きていくうえで大切な「人付き合い」のモデルというかヒントになれば、それはとても良いことだなと思えました。ほかにこんな気がきがいつかは貰えた、とても有意義な群馬大会でした。

とっとり若者サポート ステーション

とっとり若者サポートステーションは略してサポステと呼ばれています。若者の自立をサポートします。その中のグループワーク体験を紹介します。分類から言えば社会参加型というのだそうです。昨年度はサポステでは蝶写真展鑑賞と科学博物館見学・茶話会・古民家見学・クリスマスリース作り・そば打ち等昨年単発で兎に角やってみようという取りかかり二十八回七十四人が参加しました。

グループワークは必ずサポステに登録している利用者の方に限られ、一般参加はできないというところはありますが、今年度は継続的に農作業・茶話会・絵手紙・ヨガ・ポニー教室を月一回を目標に実施し半年で三十五回六十八人の参加者がありました。

参加者は交わる範囲が家族中心になりがちの中、人々との交わりのよい機会にもなったのではないかと思います。今後多くの方に求められ、ニーズにあったグループワークにしてゆきたいものです。

地域生活支援事業

ひだまり

「ひだまり」の開所から一年が経過しました。先日の十月十二日に執り行いました「ひだまり開所一周年の集い(記念パーティー)」には四十五名にも上る多くの方々にお出でいただきました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

グループ活動については、さまざまなイベントを通じて交流の輪が広がります。定例になった月に一度の「食事会・誕生会」では、ひと月にひと施設ずつ、鳥取県の養護施設各園のOB・OG・職員の方々を招待しました。ひだまり常連のOBと西部の園の職員が、何年ぶりの再会を喜ぶという一幕もありました。今後毎月、各園に案内をお送りする予定です。

サロンには、毎日五名〜十五名の方がお見えになります。開所以来、六十名以上のOB・OGの方々が顔を見せてくださいました。「OB・OGの憩いの場」として、もっと広く知っていただけるよう、情報発信をしていこうと思っています。

この一年、手探りながらも創造的に、相談支援とグループ作りに取り組んでき

ました。ご協力をいただいている多くの皆様に感謝しながら、これからも「気軽に立ち寄ることができる場所。みんなが仲良く楽しめる場所。困ったことを相談できる場所」として、より一層の充実を目指し努力していきます。ご支援よろしくお願ひします。



開所一周年

学園行事紹介

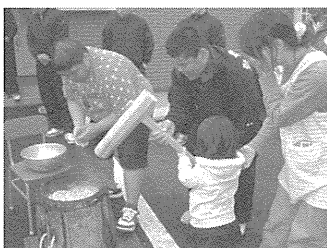
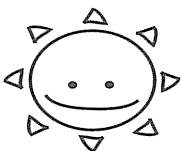
鳥取いなばライオンズ もちつき大会

今年で三十七回目を迎える鳥取いなばライオンズもちつき大会は、毎年十二月に行われる学園恒例行事の一つです。

このもちつき大会は、鳥取いなばライオンズクラブのご厚意でもちつききの材料、道具等、全てを準備していただき学園にて、鳥取いなばライオンズクラブの皆さんと共に、にぎやかに開催しています。

近年は鳥取城北高等学校、鳥取市立西中学校の相撲部の皆さん、中国からの留学生の皆さん、鳥取環境大学陸上部の皆さんにも参加していただき、歓喜の声と共に、力強く心地よい音が響きます。

今年は十二月六日の予定でインフルエンザが少し気がありますが、屋外で釜に火をくべ、餅米を蒸し、餅をつき、皆で会食をする。そんな、なごやかで楽しいひと時が、また、やって来ます。



当学園事業へのご寄付 後援会へのご加入に 感謝申し上げます。

前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、
後援会に賛同（会費納入）していただいた方々は、
237件、合計6,260,083円で下記のとおりです。
心より感謝し、ご報告申し上げます。

寄 付 者 (2009.5.1~11.30)

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
後藤 あかね	山陰歌謡学院	土江 浜代	田村 明子
柴田 直樹	柴田 和仁	井上 康夫	竹内 宙
戸田 倫弘	戸田 和子	鳥取こども学園支援バザー川口映子	医療法人 三木眼科
盛田 和子	二村 繁成	守口 賢一郎	小松 直也
市谷 経哉	市谷 成子	尾崎 呉服店	西村 得之亮
渡壁 節子	赤畑 仁司	岡田 レミ	タニグチヘア・サロン 谷口義明
鳥取教会・愛真幼稚園合同バザー	松岡 京子	富土 一郎	鳥取市立若草学園
岡田 栄子	林敬二 郎	西村 健次	谷本 正道
小谷 寿子	田中 耕自	湯村 正仁	田口 俊章
岡村 進	岡村 衣織	安田 園子	沖坂 靖
(株) テクノ工業	岸本 正枝	金田 隆臣	井坂 靖
穴戸 宏範	雨河 一幸	小橋 房子	岩宮 緑
貞光 由紀	尾崎 美和	山本 登貴	西尾 重忠
西尾 美智子	鳥取東更生保護女性会 河田美津子	山本 智丈	菜の花総合法律事務所弁護士 駒井重忠
勢木 宇太郎	安本 良栄	ユ一シーシーフーズ(株)	柴田 尚美
三好 俊夫	(有)植清園 大塚 巖	白井 道子	梅垣 真澄
奥羽 徳行	梅里 伸正	(株) イヌイ	福田 源次郎
戸村 誠一	小竹 多喜雄	西村照子税理士事務所	塩澤 洋子
伊谷 周一	小長井 賀興	橋本外科医院 橋本英宣	安住 庸雄
スカイクリニック 片山正見	大谷 恭一	谷口製めん 谷口頼雄	山下 弘実
田中 儀衛	(有)イナバ葬祭センター	松本 勲	学校法人 矢谷学園
百村 佐智	福島 庸二	梅澤 潤一	竹本 薫子
パルス電工有限会社代表取締役 義仲登	鳥取国府更生保護女性会会長 坂手愛子	竹下 努	柴田 満妙
海老原 光瑳子	松本 紀子	藤岡 知夫	鳥取鶏卵販売株式会社
山本 博	鳥取医療器(株)	丸谷 菊枝	田中 淳夫
(有)因幡安田ひまわり保険	三木 康二	石渡 禎一	杉村 英子
正林 督章	竹本 伸子	田村 愛子	植田 望
ワコインチャリティーカットフリーマーケット	高橋 昌文	株式会社 二シ	(株)さんれいフーズ 大谷和雄
吉田 恵子	井本 義孝	平野 正子	川端 勇次
横浜 雄介	(株)西原商会	中尾 文裕	湯谷 眞人
大源 真美	田原 明子	林 義雄	森田 悟子
いしど歯科クリニック	北中、福部中ブロック主任児童委員会	砂川 晋治	田子 純子
乾 豊	鳥取少年鑑別所有志一同	ホテルモナーク鳥取	砂川 眞理
巻田 政枝	(株)懸樋工務店代表取締役 懸樋義樹	鳥取南更生保護女性会代表 川本陽路子	鳥取白バラ乳販(株)
佐々木 政	米村 友孝	(有)パンドラの箱代表取締役 前田政友	森澤 直義
(有)仕出し料理やまもと	PCサービス鳥取西田淳	谷口 繁子	益田 京子
仁保 統博	山口 公一	伸原 朝子	山陰酸素工業(株)
玉木 敏久	宮崎 有代	澤田 孝義	大雲院地藏盆子供夜店
本部 友子	川口 孝一	岸田 剛一	神谷 哲司
鳥葬まごころ庵	齊藤 光實	福永 裕子	八頭更生保護女性会
常松 佐代	生田 百合子	鳥取市仏教会	柳川 和子
エキスパートグループ ホールディングス(株)	全泰通商株式会社 スリーパー	蔵本 美知子	全泰通商株式会社 パチンコラスベガス郡家店
全泰通商株式会社 パチンコルーム鳥取店	大坪 修	田賀 由美子	キリスト障害を共に学び 共に担う会鳥取支部
若山 宏	TPPROJECT 代表 南利子	束原 克美	奈良県児童福祉施設連盟
水谷 昭二	異業種ビジネス21の会 会長 本山武志	自主育児サークル キまっずCLUB	医療法人まむら耳鼻咽喉科医院 理事長 木村寛
望月 彰	河口 欣微子	竹田 義男	谷口 尚子
鳥取こども学園後援会	豊福 孝明	叶原 土筆	竹田 江海子
(株)岩田兼商店			内海 敏

氏 名			氏 名			氏 名			氏 名		
朝倉通	憲子	氏	海藤ひろみ	吉田由美子	手皮小四郎	(財)若桜町観光開発事業団					
河田瑛	順治	氏	岸江一枝	丸福商店	福社久美子	株式会社福和商店	代表取締役	福本直			
山本大	二明	氏	磯田教子	中江大園	池田征人						
久野芳	氏	氏	山田友子	青谷こども学	平野信貴						
山田中	氏	氏	福田友子	元村一也							
福田光	氏	氏	桑本茂雄	桑本茂雄							
無名	氏	氏	ライオネスクラブ	アシタバの会							

物 品 寄 付 者 (2009.5.1~11.30)

氏 名			氏 名			氏 名			氏 名		
パンドラの箱	大樹寺	桑本茂雄	大塚正司	SANYOグループ	ライオネスクラブ	アシタバの会	大塚正司	熊谷美実	太田きよゑ	UFO扇町店	米山幹雄
海藤ひろみ	半田卓実	ぱにーに	坂本亨	UFO秋里店	7'S GATE興南店	(株)野津珈琲	湯村正仁	(株)山根機材	山根茂子	山根一昭	ヤッホーキッズ事務局
丸谷菊枝	大雲院地藏盆子供夜店	UFO安長店	中川盛雄	EMIミュージックジャパン	(株)創成社	浩の会 会長 玉川平浩	無名氏				

● ホームページを開設 ●



平成21年4月に法人のホームページ

<http://www.tottorikodomogakuen.or.jp/>

を開設しました。

コンテンツ(掲載内容)は理事長あいさつ、基本理念、沿革、理事会・評議員会、組織系統、法人各施設概要、後援会、事業計画、事業報告、決算報告、リンクを掲載しています。トップページ(インフォメーション、トピック、月の行事予定)は毎月末に広報委員会で検討し更新しています。パソコンでインターネットに接続できる方は是非とも一度ご覧いただき、お気に入りに登録(ブックマーク)をお願いします。ホームページについてのご意見ご要望をお待ちしています。

会費・寄付金は下記へお願いします

鳥取子ども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取子ども学園内

☎ (0857) 22-4206・21-9551 FAX23-0242

振込口座名義：社会福祉法人鳥取子ども学園 理事長 尾崎淑子

振込口座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3422812

鳥取銀行本店 普通 7645611

お 願 い

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設での出来事、様子等を報告する意味で発行しています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考慮のことですので、ご理解いただけますようお願い致します。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。